敦賀をひろげる
プロジェクト

新幹線のある街 敦賀
住む・働く人々が考える地域課題
『敦賀をこんな街にしたい』
『こんなことできたら面白そう』

同じような思いの仲間と実践する
街づくり / 人づくりプロジェクト

TSURUGA

これまで4年間で 65 名が参加

敦賀に住む・働く様々な方が所属を超えて、まるで学校の同級生やサークルの仲間のようにフラットにつながりながら、「敦賀をこんな街にしたい」「こんなことできたら面白そう」というアイディアを持ち寄り、それぞれの得意分野を活かして、街づくりに挑戦していくプロジェクトです。

HOW

初心者大歓迎！でも熱い想いは必須！

参加者は全員、街づくりに初めて挑戦する、言わば初心者です。でもご安心を！
そんな不安を取り除くために、このプロジェクトがあります。
計６回のワークショップのほか、これまで参加した
OB・OG、さらには全国で活躍する
街づくりプレイヤーが皆さんを導きます。

仲間づくり
自己紹介や想いのシェアを通して、参加者でチームを作ります。

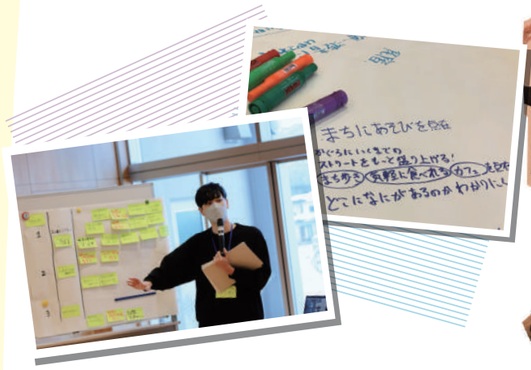
アイディア検討
参加者同士で街づくりプロジェクトのアイディアを出し合います。

フィールドワーク
チームで敦賀の魅力を再検討し、アイディアをブラッシュアップします。

中間報告
敦賀に関わる多様なゲストから、アドバイスをもらいます。

企画実行
まずはできることから、企画を実行！ここからプロジェクトが始動します！

成果報告
次年度への継続に向けて、アドバイスをもらいます。



GOAL

毎年、新しいプロジェクトが誕生！

例年、３～５個程度のイベントやプロジェクトが誕生しています。
これまで、廃校となった北小学校を活用したイベントや、
フードロス削減や地域活性を目指したカレーの商品化検討、
地元の観光地美化に向けた取り組みなど、様々
なプロジェクトが実施されてきました。

CASE

敦賀市のほか、全国12箇所でも！

「敦賀をひろげるプロジェクト」の手法は、
一般社団法人つなげる３０人が提唱する
「つなげる３０人」をベースにしています。
この取組は 2016 年に渋谷区から始まり、
横浜・京都・名古屋・広島等、国内の各都市
に展開され、これまで全国で６００人を超える
方が参加しています。

つなげる30人の広がり

東京都渋谷区　「CLEAN&ART」

渋谷区で増えていた、壁へのペインティング。
みんなで街づくりを考えながら、おしゃれに楽しく落書きを消すプロジェクト。
今では社団法人として活動している。

神奈川県横浜市　「YOKOHAMA Agri Trip ～さぁ横浜の畑に旅しよう～」

県内トップクラスの生産額をほこる地元野菜を身近に感じてもらうプロジェクト。
マルシェの開催などを行っている。

「敦賀をひろげるプロジェクト」メンバー紹介

これまで高校生や大学生から社会人、NPO や市役所など
行政関連にお勤めの方から、敦賀市出身の方などなど、
様々な方が参加しています。

参加者からのコメント

北陸新幹線敦賀開業に伴い
何か自分に役立てることはないかとの思いでこの
プロジェクトに参加しました。町を良くしたいという点
で同じ志を持つ方々と気兼ねなく話せる良い機会になり、
各々に様々な敦賀に対する想いを持っていることを知る
ことができ刺激的な良い経験になりました。

疋田　賢士さん
（1期生 株式会社マップトラベル）

転勤で 2021 年に敦賀に来ましたが、
せっかくなので敦賀に密接に関わりたいと思い、
プロジェクトに参加しました。他の参加者の敦賀に関する
知識の深さや、敦賀を良くしたいという思いの強さが印象に残り
ました。実際にイベントの実施までは至りませんでしたが、
今でも会って相談ができる仲間を見つけることができたのは
大きな収穫です。

町田　龍亮さん
（2期生 株式会社フレデリッシュ）

ラジオで敦賀の旬な情報やゲストさんをご紹介する中で、まだ見ぬ地域の魅力的な人や物、
場所を発掘して、皆さんからもっと発信してほしいと思い参加しました。毎回、「敦賀をひろげるアイデア」が
出る！出る！とにかく皆さんと話すことでより具体的なイメージもでき、年齢立場も関係ないフラットに
話せる仲間が出来たのも嬉しかったです。　星出　絵美さん
（3期生　敦賀 FM 放送株式会社ナビゲーター）

人前で自分の意見を話すこと、自分の出来ることを考え実践することが身に付き
ました。最近は敦賀について考えることが増え、本当に参加して良かったなと思っています。
平野　心望さん（3期生 敦賀高等学校）

敦賀に貢献することも魅力ですが、「年齢や職業が違う、
普段関わることの無いような方たちと活動する」ことも、
このプロジェクトの魅力です。

新田　夏鈴さん
（3期生 敦賀高等学校）

敦賀の新幹線開業をきっかけに
まちづくりに力を入れていると知って、このプロジェクトに参加しました。若い人たちにも
参加できるようなプロジェクトがあるのは、敦賀が
未来のことをよく考えていると感じました。
これから自分の住んでいる街を良くするために
何か貢献していきたいです。

橋本　学徳さん
（3期生 敦賀高等学校）

POINT 企業からも、研修の一環として参加

社員研修や地域貢献の一環として若手・中堅社員を送り込む企業も。
これまで、北陸電力㈱や㈱ジャクエツ、敦賀信用金庫などから、参加者を受け入れています。

敦賀市と当社は共同で、北陸で初めて脱炭素先行地域に採択されました。これからも敦賀市内の企業にお勤めの方や
お住まいの方々と意見交換をしながら、よりよい敦賀市になっていくことへのお手伝いができればと考えております。
そのためにも貴重な場である「敦賀をひろげるプロジェクト」には、今後も毎年継続して参加させていただければ
と考えております。
村上　秀和さん（北陸電力株式会社）

人と人が繋がり、まちが作られていく。「敦賀をひろげる」プロジェクトはまさにそんな取組だと感じています。
これまで生み出された具体的な取組も素晴らしいですし、ここで人と人が出会ったからこそ新たに生まれるシナジー は
さらに敦賀を広げていくものになっていくと思います。敦賀が“内側”から広がっていくことを期待しています！
寺井　優介さん（福井県庁チャレンジ応援ディレクター）

運営メンバーは、「敦賀をひろげるプロジェクト」OB・OGたち

ワークショップのファシリテーションからプロジェクト実行のための伴走支援まで、参加者に寄り添って
運営しています。OB・OG たちが運営することで、街づくりの知見を高めていくとともに、「地域にお住
まいの様々な方を巻き込む」「やったことがないプロジェクトを作り出し、実現していく」「大勢の前で
プレゼンテーションを行う」など、ご自身たちのスキルアップ向上にもつながっています。

３期からはファシリテーターと伴走
支援は自分達が行うことになる為、「自分
がどれだけ目的と流れを考えて組み立てて
いけるか」を意識する様になりました。
全体で協力し合い、参加者が「より自分の想いを言葉
にし、それを形（実行）に移せるか」を考え準備し、当日を迎えています。
今後はこの流れを仕組み化し、この企画が一過性のものでなく、継続
した活動になれる様に意識して臨んでいきます。

ファシリテーター　東　陽介さん
（1期生　公益社団法人 敦賀市シルバー人材センター）

敦賀に住んでいながら、
知らないことだらけでした。
会社からの紹介でこのプロジェクト
に参加させてもらいましたが、今では
たくさんの魅力ある場所や人と出会うことができました。
これからも敦賀を発信していきたいです！

司会進行　右馬　遥奈さん
（2期生　株式会社伝食）

ファシリテーター

1期生　航さん
（株式会社日章土地）

司会進行

2期生　翔平さん
（敦賀信用金庫）

伴走支援

2期生　嘉博さん
（株式会社ウチイケ）

伴走支援

1期生　絢史さん
（株式会社マツバ）

伴走支援

2期生　潤也さん
（敦賀市役所）

伴走支援

1期生　由佳里さん
（天清酒万寿店）

コネクター

1期生　美佳さん
（合同会社 FUJIONE）

POINT 毎年続くプロジェクトが誕生！

OTE LABO

お寺で、子どもも大人も楽しめるイベントを

チーム名「ザ・ゼロイチフューチャーズ」

OTELABO で作ったビーガンカレー

敦賀を全国から“もっと知りたい、また行きたい”と思われる町にするため、ゼロから新しい挑戦を続けています。ビーガンカレーの商品化、ふるさと納税返礼品の開発、年間を通じた楽しいイベント開催、そして子どもたちが「敦賀に生まれてよかった」と思える未来を創ることが目標です。
私たちと一緒に敦賀をもっと面白く、誇れる町に。ともに創る仲間を募集しています！

（森本 美雪さん）

桃井　泰人さん
（法華宗本勝寺住職、角鹿会会長）

「敦賀をひろげるプロジェクト」は、心の交流活動だと感じています。昨年本勝寺・本妙寺・妙顕寺でザ・ゼロイチフューチャーズの皆さん、角鹿会のメンバー、地域の親子の皆さんとカレーやアクセサリー作り、写経や茶道、昔遊びを体験。一時のことではありますが、年齢性別に関係なくみんなが繋がる素晴らしい取り組みでした。これからも協力させていただきたいです！

金崎宮清掃

敦賀の魅力向上に。まずは清掃活動から

チーム名「敦賀 Re 探 Q（とんがりたんきゅう）」

「皆の知らない敦賀のいいところを探求して伝える」をテーマに誕生したチーム。敦賀のいいところを伝えるにはまず自分たちが敦賀をもっと深堀りし、好きになることが重要と考え、金崎宮での清掃活動とその活動をＳＮＳで発信することから始めてみました。
現在も金崎宮を中心に活動を行っています。
さらに、2025 年 1 月にはメンバーが田舎のいいところを集めた ZINE を作成する等、様々な活動を通じて敦賀のいいところを探求し、発信しています。

（右馬 潤也さん）

POINT 2024年度には、4チームが誕生！

まだ見ぬ敦賀の扉をノックする

チーム名「つるとんとん」

「まだ見ぬ敦賀の魅力を発見！発信する！」をテーマとするチーム。敦賀の魅力を現地取材し、SNS 等で発信。最終的には敦賀の魅力を感じられる観光コースづくりを目指しています。
福井県の「ふくい千年文化プロジェクト」に参加し、神楽町にある名店への取材、記事の作成を行いました。

敦賀と世界。敦賀から世界へ

チーム名「Tsuruga to World（ツルガ・トゥー・ワールド）」

外国人観光客の方により良く敦賀を楽しんでもらうことをテーマとするチーム。敦賀でのおもてなし・観光の快適化を進め、長期的には観光船の実現を目指しています。
まずは外国人観光客向けおもてなしセミナーのほか、己書（おのれしょ）の体験イベント、世界のお菓子パーティーなどを開催しました。

若者よ、敦賀に残れ

自作の YOUNGZ ロゴ

チーム名「YOUNGZ（ヤング・ゼット）」

若者たちに「敦賀で暮らす選択」を考えてもうらうことをテーマに、高校生とＵターンした若手社会人でつくるチーム。
① 残る (ZAN)、② Ｚ世代、③ Zillion（膨大な数という意味）の Z から、チーム名のロゴマークを製作。
まずは、敦賀市内のカフェ coto や tuzu と一緒に若者を巻き込む企画を検討中です。ゆくゆくは滋賀や越前の若者も集まるビッグイベントを目指します。

夜の敦賀を明るく楽しく照らす

チーム名「Night Light Eight∞（ナイト・ライト・エイト）」

敦賀に繋がりを作ることをテーマに、市内でのイルミネーションイベントの開催を目指すチーム。
25 年 1 月にはオルパークで傘を使ったデコレーション制作や「敦賀かるた」遊びのほか、県内在住のカメラマンによる「敦賀の写真展」も開催。
さらには、1 期の OB が勤める (株) マップトラベルの協賛のもと、交流会も開催し、大人から子どもまで 30 人以上が参加しました。

敦賀をひろげるプロジェクト HISTORY

2019.03 北陸新幹線敦賀開業に向けた「敦賀市行動計画」策定
官民連携による事業推進体制・プロモーション方針を定める

2020.08 「敦賀の将来像：未来新聞を作る」ワークショップ開催
まちづくりプレーヤーの育成が必要

2021.07 「敦賀をひろげるプロジェクト」始動　第１期
■Conext　■haco-bu　■やさ SEA　■ザ・ゼロイチフューチャーズ

2023.02 １期生＋α向け研修会「まちづくり活動の収益構造の作り方」

2023.10 「敦賀をひろげるプロジェクト」第２期
■敦賀 Re 探 Q　■敦教いっぱい　■ブルー零再生

2024.03 2024 年３月　北陸新幹線敦賀開業！！

2024.08 「敦賀をひろげるプロジェクト」第３期
■つるとんとん　■Tsuruga to World　■YOUNGZ　■Night Light Eight∞

成果報告会後の参加者たち

第４期 ２０２５年夏頃　開始予定

主　催
敦賀をひろげるプロジェクト事務局
担当：敦賀市まちづくり観光部観光誘客課

問合せ先
電話：０７７０-２２-８２４１
メールアドレス：kankou@ton21.ne.jp